

全柏高生に問う

研究推進部長 丹生 憲一

新型コロナウイルスの影響で学校に来られない毎日が続きます。

新聞を開いても、テレビをつけても、「外出自粛」「感染者数増加」「医療崩壊の危機」とコロナ関連のニュースばかりですが、ネガティブな面だけに目を向けず、新しい「答えのない問」を与えてもらったと思って、前を見て乗り越えましょう。

4月18日（日本時間19日）、新型コロナウイルスに最前線で立ち向かう医療従事者を支援するために「One World Together」(Global Citizen と WHO が主催) というイベントが開催され、その中でレディ・ガガ、ポール・マッカートニー、レイ・チャールズら、世界を代表するミュージシャン 20 人以上が自宅での演奏を配信し、138 億円の支援金を獲得したとありました。スポーツ選手や芸能界の人たちも、思い思いに動画を配信して、外出できない人たちが自宅で楽しめるように、自分たちの持ち場でできることをしています。私たち教職員は、あなたたち高校生は、どのようにしてこの時期を乗り越えればよいのでしょうか？

大正大学・地域創生学部の浦崎太郎先生から「家庭学習に入る（入っている）高校生に考えてほしい」と、次のような質問をいただきました。1年生から3年生まで全柏高生共通の問いとして投げかけておきます。（一部改題）

- (1) 新型コロナウイルスに関するニュースを見て、「おや？」と感じたこと、「もっと知りたい」と思ったことはありますか？
思いつく限り書き出しておきましょう。
- (2) 上記のニュースで、最も重要だと思うことについて、安全を確保できる範囲で、書籍・インターネット等によって調べたり、おうちの人や友達と話したりして、まとめておきましょう。
- (3) ニュースをまとめて、調べる過程で考えたことを書きましょう。あなたが一番関心のある分野、話題は何でしょうか。
- (4) 新型コロナウイルスの感染拡大によって、あなたや、家族・身近な人の生活、仕事にどのような変化が生まれましたか？
- (5) (1)で調べたニュースと、(4)の変化はつながっていますか？つながっているとすれば、どのようにつながっていますか？
- (6) あなたの身の周りの人たちは、新型コロナウイルスによる問題に対して、どのような想いで立ち向かい、どのような形で貢献していますか？
- (7) あなたが高校生として、新型コロナウイルスに対して取れる行動はどんなことでしょうか？
- (8) あなたがこれから、進学・就職する中で、今後も新型コロナウイルスの影響が続いていたとして、どのような形で貢献していきたいと考えますか？

以上。改めて言いますが、答えはありません。私たち教職員も考えます。一緒に考えていきましょう！